

講習の名称：進路指導及びキャリア教育

担当講師：山口 陽弘（大学院教育学研究科教授）

講習開講日：2019年8月24日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：小学校教諭，中学校，高等学校教諭、特に職業指導の基礎知識を得たい方に。

キーワード：キャリア形成，校内研修，職業教育

講習の概要：

特に小中高生を指導していらっしゃる先生方は、キャリア教育（職業指導）に悩んでおられることと思います。そのために必要な基礎知識はどのようなものであるかを一緒に考えていきます。

実際の受講者数やそのニーズにもよりますが、できるだけ受講生のニーズを拾って、討論や発表、場合によってはロールプレイなどを通じて、一緒に考えてみたいと思います。キャリア教育に完全な解答があると期待せずに、考え方を学んでもらうことがこの授業の教育目標です。

講習の展開：

- 第1時限 現在のキャリア教育・特に過去のキャリア教育と何が異なるか
- 第2時限 児童・生徒・さらには今の大学生が持っているキャリア形成観
- 第3時限 個別発表・班別討論
- 第4時限 講師によるコメント・まとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

受講者ご自身の過去のキャリア形成について想起しておいていただけますよう、お願いします。その上で、受講者ご自身が教える際にどのようなキャリア教育を行ったかということを個別に発表していただく機会をできるだけ設定しますので、積極的に発言していただけますよう、心の準備をお願いします。そのようなご経験がなければ、質問のみでも構いません。以下に紹介する本を少し調べて頂くと深い議論ができます。

授業の形式：講義および、討論・発表。ただし、数が非常に多い場合には、討論ができないこともあります。ここ数年受講希望者が大量なので、大講義形式で終始してしまうことがあったことを、あらかじめ申し上げておきます。

履修認定試験：まとめとなる論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト：一冊だけ指定すると、玄田有史『増補改訂 14歳からの仕事道』イーストプレス  
もし可能でしたら、事前にお読み頂ければ議論がしやすいのでありがたいです。それ以外に、小杉礼子、本田由紀、宮台慎司、西原理恵子、新井紀子各氏の職業に関する著作を引用しながら議論をしたいと考えています。上記の方たちの言説に全く触れたことがないと内容の理解がやや難しいかもしれません。